

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

584

エイズ予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	3	結核予防とまん延防止対策の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		予防対策費	
	大事業		予防対策事業	
	中事業		エイズ予防事業	

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市地域保健医療計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	谷井 朋子 488-5104
事業実施の根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	エイズの正しい知識の普及及びHIV感染症を早期発見・早期治療することにより、感染の予防及びまん延の防止を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ・HIV抗体検査及び相談の実施 ・エイズやHIV感染症について、正しい知識の普及啓発を実施 			
事業内容		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座 ・広報誌や公式ツイッターでのエイズミニ講座等による知識の普及啓発 ・保護者等を対象とした研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座 ・広報誌等による知識の普及啓発 ・路線バス内に啓発ポスター掲示 ・講演会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等による知識の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所でのHIV抗体検査(無料匿名)及び相談 ・高校等での出前講座、大学や高校のイベントでのブース設置、広報誌等による知識の普及啓発 	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,964	1,520	1,965	1,660	1,914	1,777	1,921	0	1,921	0
伸び率(%)	△21.2%	△18%	0.1%	9.2%	△2.6%	7%	0.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,525	7,757	6,073	8,097	7,386	7,150	6,679	0	0
	正規職員以外	0	0	182	114	136	136	159	0	0
	小計	7,525	7,757	6,255	8,211	7,522	7,286	6,838	0	0
国庫支出金	979	979	980	979	954	954	957	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	985	541	985	681	960	823	964	0	1,921	0
所要人数(人)	正規職員	0.97	1.00	0.78	1.04	0.94	0.91	0.85	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.08	0.05	0.06	0.06	0.07	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金1,156千円、手数料 270千円 【2月補正予算額△54千円】管外出張旅費△58千円、国庫支出金返還金4千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	種類	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
検査・相談の啓発の種類		種類	目標値					
			実績値	11	11	11		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
受検者数(HIV抗体検査)		件	目標値	300	300	300	300	
			実績値	85	159	192		
			達成度(%)	28.3%	53.0%	64.0%	%	%
相談数		件	目標値	100	100	100	100	
			実績値	44	45	98		
			達成度(%)	44.0%	45.0%	98%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>高校での出前講座を実施し、若い世代への正しい知識の普及啓発の必要性を改めて感じた。</p> <p>世界エイズデーに際し、ショッピングモールにてイベントを開催、パンフレットの配布やクイズ等を実施し、若年層を中心に、エイズについて関心をもち、理解を深める機会となるよう普及啓発を実施した。</p> <p>また、リモートによる思春期の性教育に関する講演会を開催し、思春期の性に関連する人との付き合い方や近年感染者数が増えている梅毒についても講義いただき、正しい知識の普及とともに、理解を深める機会とした。</p> <p>市民ギャラリーやライトアップ事業などを活用し、市民啓発に努めた。</p>
見直し・改善内容	<p>引き続きイベント等を開催し、若年層に対する普及啓発の充実を図る。</p> <p>様々な媒体を利用し、正しい知識の普及とエイズに対する理解を深める機会を提供する。</p> <p>感染予防のため、検査の実施についての啓発を強化する。</p>